



[1B_PL] 規格基準類策定に係わる課題と 今後の展望

座長： 名古屋大学 山本章夫



本企画セッションの概要

- 原子力を取り巻く環境が急速に変化する中、約25年前にスタートした標準委員会も変化していく必要があります。
- そのため、標準委員会の基本方針に照らして現在の活動をレビューし、基本方針の見直しも含めて今後の活動を改善するための議論を行います。
- 講演では、まず標準委員会の現在の活動、規格の策定状況や活用状況をレビューし、その後、標準委員会の活動に係る課題を可視化します。
- 総合討論では、標準委員会のステークホルダーにパネリストとして登壇いただき、第三者から見た課題あるいは今後の方向性に関して包括的な議論を行います。

本企画セッションの構成

セッション タイトル	規格基準類策定に係わる課題と今後の展望		時間 配分 (目安)
(座長所属)座長 氏名	(名古屋大)山本 章夫		
講演タイトル		(講演者所属)講演者氏名	
1	標準委員会活動の現状	(九州電力)毎熊 成公	20分
2	標準委員会活動の課題	(名古屋大)山本 章夫	10分
3	総合討論(ステークホル ダからの意見を踏まえて)	(電事連)富田 邦裕 (規制庁)神谷 考司 (電気協会)阿部 弘亨 (機械学会)笠原 直人 (九州電力)毎熊 成公	60分



講演1の概要

- 標準委員会の現在の活動、規格の策定状況や活用状況についてレビュー
 - 活動目的、目指す標準の姿
 - 傘下の組織(検討会、専門部会)
 - 資金に発行した標準類
 - 標準の活用



講演2の概要

- レビューに基づき、標準委員会の活動にかかわる課題を可視化
 - 標準を取り巻く環境
 - 論点と課題
 - 総合討論での論点